

# あいめーる

夏・秋 合併号

愛隣館通信

令和2年11月01日発行 〒861-0551

発行

熊本県山鹿市津留2022

社会福祉法人 愛隣園

TEL 0968-43-2771

障害者支援施設 愛隣館

FAX 0968-43-2793

発行責任者 三浦貴子

http://aileans.com

編集 広報チーム

E-mail

キャリアページョン

ailinkan@magma.jp



入居者・職員集合写真（当日勤務の職員です）

社会福祉法人 愛隣園は、昭和二十五年四月に家庭裁判所少年観  
察事業「愛隣園」として創設し、本年創立七十周年を迎えました。  
彦嶽の麓（山鹿市津留）の広々とした土地に、多様な福祉事業を行  
う愛隣園の施設が点在。その中に障害者支援施設「愛隣館」があり、  
開設当初よりサービスを長年ご利用の方など、皆様に支えられ三十  
三年目を迎えました。愛隣館では、家庭的な雰囲気の中で様々な障  
害を持った方たちが、百名を超えるスタッフと共に、日々安全に安  
定した暮らしを送っています。

八月上旬より、法人愛隣園七十周年記念誌作成の準備が始まり、  
ご家族、入居の方にも寄稿頂き、事業所ごとに記念撮影を行いまし  
た。愛隣館では八月十八日（火）食堂に於いて入居者・職員の集合  
写真を撮りました。入居の皆さん、職員もコロナ禍の為、撮影直前  
まで感染予防のマスクをしていましたが、撮影時には、元気な笑顔  
を見せてくれました。

入居の方々にコメントを頂きました。

永井さん「デイケア利用中の転倒を心配したスタッフから、入居  
の手続きだけでも…。と云う事で手続きをし、入居して三年。在宅  
の頃に比べ、食事の心配はないし、日々の生活がとにかく楽になり  
ました」

杉山さん「電動スラロームで出場した昭和六十三年北海道大会  
で、大会の締めくくりである後夜祭に行く予定が、体調を崩して後  
夜祭のコンサートを見逃し、美味しい食事も出来なかったことが心  
残りとなりました。今では一番の思い出です」

中本さん「愛隣館で行った長崎一泊旅行、雲仙みかどホテルに泊  
まり、食事も豪華な海鮮料理で美味しく頂きました。スタッフの皆  
さんの力添えで、生まれて初めて入れてもらった露天風呂の体験が  
一番心に残っています」と愛隣館との思い出や体験談を話してくれ  
ました。

法人愛隣園創立

七十周年を迎えて



館長 三浦 貴子

夏・秋合併号  
1つ目は、十月一日、月見の歌会。  
「グーグルデュオ 画面に映る 父母の顔」  
この句は、利用者の方の気持ちをスタッフが詠んだのでしよう。

入選は逃したものの、オンライン面会で、画面に現れたご両親の顔にきょとんとしながら、声に喜ぶお姿が見えました。

「澄みわたる 青い空には 見えぬ敵 制限うける 特別な夏」

昭和六十三年開設から入居の杉山さんの句です。自由を何よりも大切にしてきた愛隣館の三十三年間で、初めての制約、ごめんなさい。真に澄みわたる日へ向かって一緒に歩いていきましょ。

そして、二十五年程前に、美しさや優しさで当館を一世風靡し、惜しまれながら結婚離職したスタッフの句

「河野さん 覚えてますよ 月見会」

愛隣館で、故小西さんと共に月見の歌会を始め、今は選者をお務めの河野さん(八十三才)に会いに、有働秀代さん初めてのアクセスです。

その河野さん、故人を詠むことは供養になると教えてくれました。毎年、熱情あふれるあの句が今年はありません。

「タクシーの彼」もいちど会いたい 西村さん  
2つ目は、十月六日から十八日まで主催の「生の芸術アール・ブリュット展覧会vol.6」。何とかリアルで開催でき、予測を大幅に超えて、例年通り二千四十四名のご来賓を頂きました。会場 熊本県立美術館本館の丁寧なコロナ対応と配慮、支えてくださったすべての皆さまに感謝します。

そして、コロナ下でも作家の輪は拡がり、連携は深まりました。それぞれの場所で、他の誰とも違う方法で表現された作品が、今年も多くの人々の心を掴みました。

新聞報道四回、テレビ放映二回において、熊本の作家さん達の二〇二〇年の記録を残して頂きました。これからも続くコロナの時代を、ありのままに生き抜く力になったと感じております。

ヒューマンライツ委員会

委員長 守田 直人

今年度よりヒューマンライツ委員会の委員長(守田直人)、副委員長(竹下真二・納富久)が変わり、新しい体制での委員会になりました。

六月には新体制での初回の全体会を行い、基本運営方針などを周知すると共に、人権意識を改めて考える演習を行っています。利用者代表として自治会役員にも参加していただき、率直なご意見も伺っているところです。

本委員会は虐待や不適切対応が無いことを「

ルとするのではなく、一歩進んで、利用者の権利を主体として、よりその方らしい(個人の想いやストーリーを重視された)生活を営める愛隣館の支援を目指し、サービスの質を高めていくことと考えています。愛隣館のサービスを提供するものとしての信条や誇りを持って業務にあたるような取り組みをしていきたいと思っております。



新しい仲間



入居者 八橋 英治

六月一日に入居しました八橋英治(四十九)です。地元は熊本県合志市須屋で、二十代〜三十代は友人たちと車いすバスケットボールを楽しみながら、障がい者就労支援センター・テクニカル工房にて、印刷科指導員として施設製品販売用のポスター・チラシ類の作成や、病院等から依頼を受けてのカルテ

など印刷物の作成、地域の高齢者向けに合志市社協が開催するパソコン・インターネット講座の講師などを行っていました。年齢が四十代となると身体にも不調を感じるようになります、わずか十二年ほどで就業生活を終えることになりました。

また、自分で身の周りの世話をしてくれていた両親も高齢となり、五十歳を迎えるまでには家を出ねばと考えて数か所の施設を見学した結果、「ここが一番イイかな」と思った愛隣館への入居を決めました。

多くの先輩方と早く仲良くなり、職員の皆様によりながらではありますが楽しい愛隣館生活を送ればと思っています。



入居者  
金森 奈美子

今年の五月二十六日に入居しました、金森奈美子です。去年の十月まで、熊本市で一人暮らしをし、ライン工房に通っていました。日赤病院へ入院して手術をし、託麻台リハビリテーション病院へ転院。その後愛隣館へ入居となりました。

私は、入院前は手が器用で、ビーズ細工が得意でした。かわいい物と、嵐が好きです。

これから、愛隣館で楽しみを探しながら、元気に過ごしたいと思っています。皆様どうぞよろしくお願ひします。

(代筆：古川和代)



入居者  
松津 美恵

八月一日(土)よりお世話になっていきます、松津美恵です。以前は、もくせい学園で、お菓子の箱の中に中敷きを入れる仕事をしていました。

愛隣館に来て、まだ日が浅いですが、お話をするのも好きなので、いろんな人とお話をしてみたいので、気軽に声をかけて下さい。

カラオケも大好きで、十八番は、大事MANブラザーズバンドの「それが大事」でいつも歌っています。

時間があれば絵手紙もやっていたので挑戦してみたいです。

皆さん、これからよろしくお願ひします。



食生活課  
中田 貞美

新人職員紹介

こんにちは、私は四月一日から愛隣館の厨房で、お世話になっていきます。

初めての職場でわからない事がたくさんありますが、厨房の皆さんにやさしく教えてもらっています。迷惑をかけていますが頑張っていきますので皆さんよろしくお願ひします。



愛隣倶楽部  
宮崎 史織

こんにちは、四月より愛隣倶楽部でお世話になっている宮崎と申します。

今まで介護の仕事はしたことがなく、はじめてのことばかりで最初は不安もありましたが、周りの方々に助けていただきながら少しずつですが仕事を覚え、慣れて来ました。

まだ分からないことがたくさんあり、皆さんにはご迷惑をおかけすることがあると思いますが、利用者さんや職員の方々いろいろな事を教わりながら、地域のお役に立てたらと思っています。

ひとつひとつの事に丁寧に取り組み、頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

理学療法士  
穴見 豪

はじめまして、四月より週二回(月・木)愛隣倶楽部のご利用者のリハビリをしています。理学療法士の穴見です。今までは人吉市の方で病院や障害者支援施設の現場で働き、今回実家である和水町に帰ってきた事がきっかけで愛隣館で働かせて頂いています。



愛隣館以外の日はサッカーチームのスポーツツト  
シーナーとして関わっており選手のリハビリやケ  
アを行なっています。

これから、愛隣館を含め様々な現場での利用者様  
やご家族・職員の皆様との出会いを大切に仕事を行  
っていききたいと思っています。どうぞよろしくお願  
い致します。

### ● 月見の宴 ●

サブチーフ 本田 智子

毎年恒例となりました「月見の宴」：今年は新型  
コロナウイルスの影響により宴を中止し、短歌・俳  
句の作品募集のみ行いました。行事は縮小となりま  
したが、俳句五十四句・短歌三十七首のご応募を頂  
きました。どの作品も渾身の一作ばかりで、一つ一  
つ拝見させていただく中で皆さんの想いの強さを  
感じました。

中秋の名月にあた  
る十月一日(木)、食  
堂にて入選作品の発  
表。入選された方々  
はそれぞれに大変喜  
ばれ、嬉しそうに賞  
品を受け取られてい  
ました。夕食はお月  
見御膳を準備し、少  
しでも季節の移り変  
わりを感じて頂けた  
のではないかと思い  
ます。



### 令和二年度俳句・短歌入選作品

#### 短歌「月の部」

一席 遠き日に 月あかり背に 田草(たぐさ)とり  
父と吾(われ)との 深き思い出

山口 博美

二席 月に問う 今の試練(しれん)は 何時(いつ)  
までと 帰れぬ故郷(さと)は 母独りなり

後藤 雅子

三席 なつかしい 波にゆらゆら 浮き沈み  
ふるさとの月 天草の海

池田 良子

#### 短歌「雑詠の部」

一席 宴会も 花見もなかった 子(ね)の年も  
暦(こよみ)は残り 四枚となる

友枝 正海

二席 そよそよと すすぎがゆれる 登山道  
雲海現れ 足取り軽く

有働 秀代

三席 猛暑にも 負けずに介護 ありがとつ  
汗ばたばたの 母に感謝す

山口 さとみ

#### 俳句「月の部」

一席 月明り 逝(ゆ)きし人らに 安らぎを  
後藤 雅子

二席 月明り 虫の音(ね)のみぞ 響きけり  
刈上 年孝

三席 名月に 元気であれよと 手を合わせ  
小川 ハツ子

#### 俳句「雑詠の部」

一席 汗だくの マスクの下に 笑顔見ゆ

福島 周平

二席 秋空に PM2.5の ホコリまう

田中 鉄也

三席 朝のつゆ つゆ草の花 つゆひかる

吉本 やす代

#### 三浦牧子名誉理事長賞

さるすべり コロナの夏も 咲きほこる

刈上 年孝

影法師 疲れを知らず 走ってる

田中 裕一

ピン子でも チャンスにするぞ 鋼(はがね)の心

龍之介(下川龍次)

お月さま 止(と)めてください このコロナ

心待ちする おだやかな日々

山口 さとみ

#### 理事長賞

今や神 アマエ様は 妖怪よ

中田 有美

猛暑にも 負けずに介護 ありがとつ

汗ばたばたの 母に感謝す

山口 さとみ

#### 館長賞

汗だくの マスクの下に 笑顔見ゆ

福島 周平

#### 愛隣荘賞

中学の 思い出君の 顔の月

猪股 敦

宴会も 花見もなかった 子(ね)の年も  
暦(こよみ)は残り 四枚となる

友枝 正海

晴れ姿 新郎新婦 幸せに  
今年一番 嬉しい話し

後藤 雅子

**城北高等学校 竹原校長賞**

月もまた 安らぎ照らし 共にある

坂田 照美

漆黒の 闇夜を照らす 月明り

心はずませ 家路(いえじ)を急ぐ

富田 正美

**アルブリュットパトナズ熊本 西島会長賞**

月明(あかり) 紅葉愛(もみじめ)でつつ

富田 正美

手をあてて 胸にたずねる わかれ道

小川 八ツ子

汗だくの マスクの下に 笑顔見ゆ

福島 周平

漆黒の 闇夜を照らす 月明り

心はずませ 家路(いえじ)を急ぐ

富田 正美

**熊本日日新聞社 編集局**

**デジタル編集部 岩下次長賞**

今年はね コロナのついで 何も無い

吉本 やす代

**第三者委員 栗川賞**

今や神 アマエ様は 妖怪よ

中田 有美

昨年は 孫の手の上 まんまるの月

三浦 一水

**第三者委員 山西賞**

汗だくの マスクの下に 笑顔見ゆ

福島 周平

澄みわたる 青い空には 見えぬ敵

制限うける 特別な夏

杉山 伸一

**オフィス幸知 平野賞**

月光り 外ながむれば 金の米

前田(前田秀之)

汗だくの マスクの下に 笑顔見ゆ

福島 周平

お月さま 止(と)めてください このコロナ

山口 さとみ

虹の空 あなたに届け 幸せを

笑顔いっぱい 明日(あす)に向かって

吉本 やす代

**三菱総合研究所 高森賞**

月もまた 安らぎ照らし 共にある

坂田 照美

見上げたら 同じ形のお月さま

離れていても 近くにいても

後藤 雅子

**山鹿燈心会 会長賞**

通院は 母に会える日 晴れ晴れと

山品 聡美

宴会も 花見もなかった 子(ね)の年も  
暦(こよみ)は残り 四枚となる

友枝 正海

**県立美術館に外出**

九月一日(火)県立美術館にて開催中の「江戸の動物絵大集合!猿描き狙仙三兄弟、鶏の若冲、力工の奉時も」親子でみる美術展「二の丸動植物園」の二つの展覧会に河津さん、野尻さんとアール・ブリュット作家の松本寛庸さんと職員三名で行ってきました。

野尻さんに感想を聞きました。「心に残っているのは、親子でみる美術展で細川家ゆかりの美術品から歴史資料など様々な展示品が紹介してありました。お姫様が身に着けていた着物が綺麗で、とても見ごたえがあり色んな展示品を観て刺激を受け、障がい者芸術展に出展する絵を一生懸命描いています」と笑顔で、話してくれました。

皆さん、久し振りの外出に気分転換出来たようでした。



左より：野尻さん・松本さん・河津さん

**実習を通して**

熊本学園大学 社会福祉学科  
松永 芽衣

こんにちは、十月一日(木)から十月十六日(金)まで実習をさせて頂きました。熊本学園大学 社会福祉学科の松永芽衣と申します。

実習の中で多くの利用者の方とお話をさせていただき、様々なコミュニケーション方法について学ばせていただきました。知識としてだけでなく実際のコミュニケーションを通して得られた気付きや経験は、自身にとっても大きな学びとなりました。今回は、コロナウイルスの影響で実習期間も短くなってしまいました。しかし、このような状況だからこそその取り組みや利用者の方の思いに触れることのできた貴重な時間となりました。今回の学びや経験を今後の学習に生かしていきたいと思えます。



生の芸術 Art Brut 展覧会 Vol.6

総務部 納富 久

新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれた「生の芸術 Art Brut 展覧会 Vol.6」は、十月六日(火)県立美術館にて無事に開催すること

ができました。初日は、コロナ対策として簡素化した開会式をエントランスホールにて開催し、選出作家二十二名全員に参加して頂きました。作家紹介では、一人ひとりの作家が誇らしく、胸を張っていたように感じます。

新型コロナウイルスの影響で動画やWebなど新たな試みにも取り組んだ今年の展覧会。これからも工夫を重ね、創作活動を続ける作家の皆さんが自分の居場所だと感じることができるよう展覧会を開催していきたいと思えます。



### 労働安全衛生委員会

十月の労働安全衛生委員会は、歯科衛生士・木下晴美様をお招きし、口腔ケアについてご講話いただきました。食へるという事は心の豊かさにつながり、いつまでも自分の歯で食事をするには定期的メンテナンスが必要。口腔内を清潔にする事で身体の健康を保てる。磨けているつもりが、磨き残しがあるので歯ブラシも数種類を使い分けて磨く方が良いとの事でした。

十一月のテーマは『ストレスチェック』です。

### お知らせ

#### ◆手洗い所設置

八月三日(月)正面玄関に手洗所を設置しました。



新型コロナウイルス、インフルエンザをはじめ、様々な感染症を持ち込まないよう先ずは、手洗励行！一人ひとりが心掛けましょう。

#### ◆畳替え

九月十四日(月)より、居室等の畳表替えを行いました。イ草畳十九枚、ヒニール畳十枚、計二十九枚が新しくなりました。

#### ◆熊本豪雨災害派遣

熊本県社会福祉法人経営者協議会より、熊本豪雨災害に伴う福祉避難所への職員の派遣依頼があり、DWA(T(災害派遣福祉チーム)として、竹下真二を七月二十日から二十二日まで、にしき園あさぎのホーム。松本誠を八月十七日から十九日まで、鐘ヶ丘ホームへ派遣しました。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリア・ピジョンが担っています。